

新・世界と日本の水事情

グローバルウォータ・ジャパン代表 吉村 和就

第2回



では年間20センチも沈下する地域もある。これは、雨季の洪水リスクをさらに高めている。

3. 日本の政府開発援助（ODA）による支援

・ジャカルタ：円借款（約570億円）で同国最大の下水処理場（日量24万立方メートル）を日本の企業連合が建設中（工期23年）。

・各都市向け：横浜市、川崎市、北九州市など日本の水道事業者が、漏水対策や運営管理に関する技術協力を継続的に実施している。

・工業用水・排水処理：環境規制の強化に伴い、工業排水処理技術のニーズが高まっている、特に水を浄化して再利用する技術は、コスト削減にもつながるため、重要なビジネスとなる。

日本は、インドネシアの水問題解決に向けてさまざまな支援を行っている。直近で、JICA（国際協力機構）を通じて以下のようなプロジェクトが実施された。

・メタン市：水道事業体の能力強化や水資源管理、洪水管理を目的とした技術協力。

・バンドン市：自治体間で特に高い成長が見込まれる。

・上下水道インフラの維持管理・運営：老朽化

した水道管の漏水対策や、普及率が低い上下水処理施設の整備は喫緊の課題であり、日本の技術やノウハウが貢献できる。



インドネシアの水事情と水ビジネス展開

9月初旬、久しぶりにインドネシアの首都ジャカルタを訪問、近代的なスカルノ・ハッタ空港から市内に向かう、近代的な高層ビルも多く見られ急速な経済発展を感じさせる。しかし昔同様、交通渋滞が凄いい、空港から市内までたった35分なのに2時間以上かかることもある。それ以上に大変なのはインドネシアの水事情である。

業が地下水に依存しており、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

9月初旬、久しぶりにインドネシアの首都ジャカルタを訪問、近代的なスカルノ・ハッタ空港から市内に向かう、近代的な高層ビルも多く見られ急速な経済発展を感じさせる。しかし昔同様、交通渋滞が凄いい、空港から市内までたった35分なのに2時間以上かかることもある。それ以上に大変なのはインドネシアの水事情である。

業が地下水に依存しており、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

1. 日本とインドネシアの現状比較

日本とインドネシアは、国土と人口において対照的である。国土面積

は日本の約5倍、人口は日本の2倍以上（約2億7900万人）に達する

急速に縮まっている。

2. インドネシアの水問題

業が地下水に依存しており、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

9月初旬、久しぶりにインドネシアの首都ジャカルタを訪問、近代的なスカルノ・ハッタ空港から市内に向かう、近代的な高層ビルも多く見られ急速な経済発展を感じさせる。しかし昔同様、交通渋滞が凄いい、空港から市内までたった35分なのに2時間以上かかることもある。それ以上に大変なのはインドネシアの水事情である。

業が地下水に依存しており、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ

り、乾季には水不足が深刻化している。

・水質汚染：西ジャワ州を流れるチタルム川は、かつて「世界で最も汚染された川」と呼ばれ、さらに工場や家庭からの排水、不法投棄されたごみ

が原因で、深刻な汚染が続いている。

・地盤沈下と洪水：過剰な地下水のくみ上げにより、ジャカルタなどの沿岸部では地盤沈下が進行しており、場所によ